



6616
複式ボールタップ(ポリ玉)
6617
複式ボールタップ(銅玉)

取扱施工説明書

施工前・使用前に必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

△ 注意

取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

△ 注意

- ボールタップを取付ける受水槽には満水・濁水警報装置を設けてください。(ボールタップが正常に作動しない場合、受水槽外へ水もれを起こしたり、給水不能になります。)
- ボールタップを取付ける受水槽には、オーバーフロー管を設けてください。(ボールタップが止水不良を起こした場合、受水槽外へ水もれを起こします。)
- 揚水ポンプとボールタップを組合わせてご使用になる際は、ポンプに空転防止装置を設けてください。(ボールタップが吐水不良を起こした際、ポンプのモーターが焼き付きを起こし、ポンプが破損する可能性があります。)
- ボールタップを取付ける位置は、点検口、マンホール近くなどの点検しやすい位置に取付けてください。
- スパナなどは本体取付ネジのツバ部にある締付ボス(二面)以外には絶対にかけないでください。(部品が変形・破損し、水もれ・作動不良の原因になります。)
- 継ぎサオを故意に曲げて使用しないでください。(止水設定が適正でなくなったり、作動不良の原因になります。)
- ボールタップを取付ける際は、配管内のフラッシングを充分してから取付けてください。(異物のかみ込みにより止水不良の原因になります。)
- 継ぎサオと浮玉の取付けは、ロックナットで確実に締付けてください。(取付けが不完全な場合、浮玉が継ぎサオから外れ、止水不良による漏水の恐れがあります。)
- ボールタップの吐水時、波浪がひどい場合には受水槽内で波よけ板を取付けるなどして、浮玉に直接波が伝わらないようにしてください。(ハンチングによるウォーターハンマーや部品破損による作動不良の原因になります。)

仕様

使用流体	上水道水
最高使用圧力	0.75MPa

取付けの前に

- ボールタップを取付ける際は、配管内のフラッシングを充分してから取付けてください。
- ボールタップの一次側配管に点検しやすいところに必ずストレーナーを設けてください。
- ボールタップ手前には、別途にストレーナーを設けてください。(異物による作動不良の原因になります。)
- 液状などのシーラ剤を使用して配管する場合は、ボールタップ内に流れ込まないように注意してください。(ストレーナーの目詰まりによる吐水不足や作動不良の原因となります。)

取付方法

- 1.ボールタップを給水管へ傾きがないように取付けてください。
*スパナなどは本体取付ネジのツバ部にある締付ボス(二面)以外には絶対にかけないでください。
- 2.浮玉を取付けてください。
*継ぎサオと浮玉の取付けは、ロックナットで確実に締付けてください。
- 3.ボールタップ取付後は、まわりの配管が充分固定されているか確認してください。(固定が不完全な場合、振動の原因になります。)
- 4.ボールタップの作動時、ボールタップの接続部などの点検を行い、水もれのないことを確認してください。

△ 注意

- ボールタップの吐水時、波浪がひどい場合には受水槽内で波よけ板、仕切り板を取付けるなどして浮玉に直接波が伝わらないようにしてください。
- 継ぎサオと浮玉の取付けは、ロックナットで確実に締付けてください。

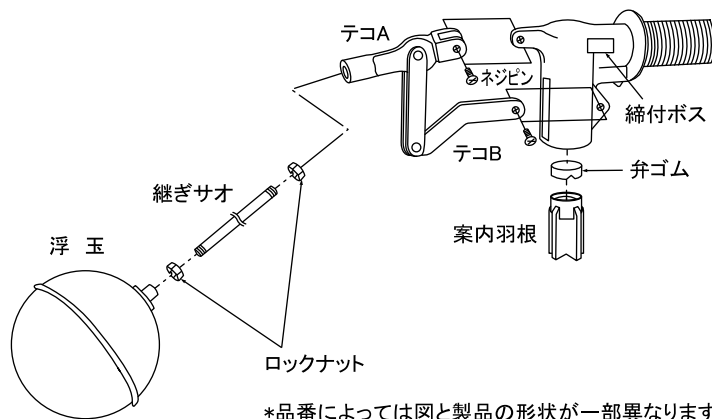
こんなときには・・・簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、下記分解図を参考に次の要領で点検を行ってください。

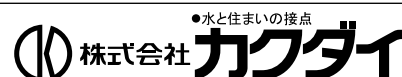
現象	原因
水が止まらない	●弁ゴムに傷、ゴミかみはありませんか。 ●水圧が高すぎませんか。
吐水量が少ない	●水圧が低すぎませんか。
異音・振動がする	●ボールタップの取付けはしっかり固定されていますか。 ●水面の波浪はありませんか。 ●ロックナットが確実に締付けられていますか。

* 設置後は、半年に一度点検を行ってください。

分解図



ご購入店名(施工業者名)



本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124
0309SG M-F0801B

無断転載・複写を禁ず